

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

総選挙の結果と山積みするこれからの課題

総選挙で 自公政権が惨敗

強行突破でゴリ押しされた総選挙が行われた。結果はご存じの通り自民党の思惑は外れ、過半数を大きく減らす惨敗に終わった。

前国会で野党が内閣不信任を提出の際、15年前の民主党政権樹立を「あれは悪夢だった」と言いかけたが、今回の選挙結果を自民党・公明党はどう受け止めているか。「奢るもの久しからず」である。

さて、野党が過半数を制したものの、問題はここからである。すでに各野党に様々な形で秋波を送っている。それにどう答え、目立とうかと動揺している姿が見苦しい。

苦しい国民の生活に 寄り添った政策を

世論は第一に「政治とカネ」に厳しい審判を下したのには、日々の生活が物価高騰と賃金が上がらない現状の怒りの裏返しである。国民は今すぐにも有効な政策での対応を求めている。

日本共産党が打ち出した、消費税を5%に引き下げる、最低賃金を時給1500円に引き上げる、物価値上げに大もとへの規制と援助など、今すぐやるしかない課題が山積みしている。まさに生活者に寄り添った政策の決断と実行が必要である。

今すぐに財源の 見直しを

財源の問題も、40%台から20%台に引き下げた法人税の引き上げを自民党も言い出した。また防衛費も、



今年年8兆円にもなっていることからも、要不急の支出」と良く言われていることから5年間で43兆円という莫大な軍事費は今や国民の生活を圧迫し、削減できるものである。

日々の生活、暮らし を守る政治を

要は「国民を守る」のは安定した日々の生活、暮らし無くして、政治の信頼と政府への信頼は生まれてこないのである。

これを肝に銘じた政治を切に願いたい。
(野村真天前市議)

総選挙の 結果について

10月27日投票の総選挙で、自公は「与党過半数割れ」となり、歴史的敗北の結果となりました。



しんぶん赤旗スクープにやー

この流れをつくったのは、「裏金づくり」を暴露し、選挙の最中にも「裏金非公認議員に政党助成金から2千万円の支給」をスクープした「しんぶん赤旗」と日本共産党の論戦でした。

日本共産党は、小選挙区では沖繩1区の赤嶺政賢さんの宝の議席を守り抜くことができましたが、比例代表選挙では、残念ながら改選9議席から7議席に後退しました。千葉県を含む比例南関東では志位和夫議長長の議席を確保しましたが、複

数議席獲得はなりませんでした。
皆様方のご支援ご協力ありがとうございました。
あたたかな前進を目指し頑張る決意です。
(しらかば編集部)

AED(自動体外式除細動器)は、誰でも使える救命医療器具です。
最近では町内会やマンション管理組合でもAEDを設置しようとする動きがあります。
我孫子市ではAEDを購入またはレンタルする場合、24時間誰でも使える状態で設置することを条件に(マンションの場合)は近隣の住民も使用出来るように、オートロックドアの外に設置)対象経費(購入またはレンタル

A あなたが E えらぶ D だいじな行動



何もしなければ心肺停止から10分で生存率はほぼゼロになります。命を救う。勇気あるあなたの行動で助かる人がいるのです。
(緑 S)

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



市政を語る会と 総会のお知らせ

▼アピスタ2階第2和室
(手賀沼公園内)

当日は市議を迎えての市政報告の後に、総会を予定しています
皆様のご参加をお待ちしています

▼11月23日(土)14:00から
主催 日本共産党我孫子南地域後援会

しんぶん赤旗日曜版が『自民党派閥パーティー資金の「政治資金報告書不記載」報道と、引き続き政治資金、裏金問題に関する一連のキャンペーン』で、今年の日本ジャーナリスト会議(JJC)大賞を取りました▼受賞理由には「公開されている膨大な政治資金報告書から、一つ一つを地道に積み上げ、検察の捜査にまでつなげ、それが大政治犯罪であることを明らかにした」とあります▼受賞後も、旧石破派の裏金問題をスクープ。投票日の4日前には、「裏金」非公認候補へ政党助成金2千万円をスクープ▼選挙後、自民閣僚経験者は「赤旗裏金バズり」にやられた。2千万スクープがとどめだった、立憲幹部は「MVPは共産党としんぶん赤旗だ」と言いました▼朝日新聞の川柳には「赤旗のふんどし借りて勝ち戦」と載りました。残念ながら共産党は議席を減らしましたが、自公過半数割れの貢献度は抜群でした▼政局報道ばかりで、権力監視を忘れた付度メディアが多い中、赤旗はなくてはならない存在です。政党助成金を受け取らない共産党の85%は赤旗などの事業収入です▼赤旗日曜版を手にとってみてください。連絡頂ければ見本紙をお届け致します。
(R)

オオバン

総選挙 ◆ 日本共産党へのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

我孫子古道巡り

3076

谷津と丘の泉を巡る



今回は「泉」を巡ります。泉地区は、昭和46年の天王台駅開設に伴い宅地造成開発されました。柴崎の多くと、南の高野山、我孫子から成ります。北部は「浅庭」中央部は「海老谷津」と呼ばれた低地、南部は「本郷、堀尻」と呼ばれた丘陵部でした。

駅開設と同時に入居が始まり、昭和53年に「泉」と住居表示されました。入居当時は家庭用電源がなく、工専用電源を借用していた時期があったとされます。船取線の「泉交差点」を渡り「下ヶ戸・泉線」を東に向かいます。北側の常磐線沿いの丘陵部にはマンションが建ち、通りに沿って商店が点在します。



エーデル幼稚園(9月撮影)



ファミリーハイツ



泉郵便局

左側に、昭和57年開局の「泉郵便局」があります。やがて、高野山と柴崎を行き来した「旧道」を南に上ると、昭和52年に建てられた、4階建6棟から成る

南に入り階段を上ると丘の上に「泉台公園」があり、市内が一望できます。
(栄 関口)



泉台公園

西に向かうと区画された住宅街で、石垣でかさ上げされた家が目立ちます。水害の対策でしょうか。



泉の街並み

集合住宅「ファミリーハイツ」があります。北側の「エーデル幼稚園」は閉園となり、建物が撤去され造成工事が行われていました。

国鉄が民営化された1980年代、常磐線は東京への通勤圏が取手以北の牛久土浦方面に伸びて利用者が増え続け、混雑率も極めて高くなりました。このため沿線からも快速電車の延伸や4ドア車の要望が高まりました。

しかし取手以北は石岡市にある気象庁地磁気観測所への観測障害を避けるために交流電化となっているため、当時快速電車で使用されていた4ドアロングシートの103系通勤電車は直流専用のため使用できませんでした。

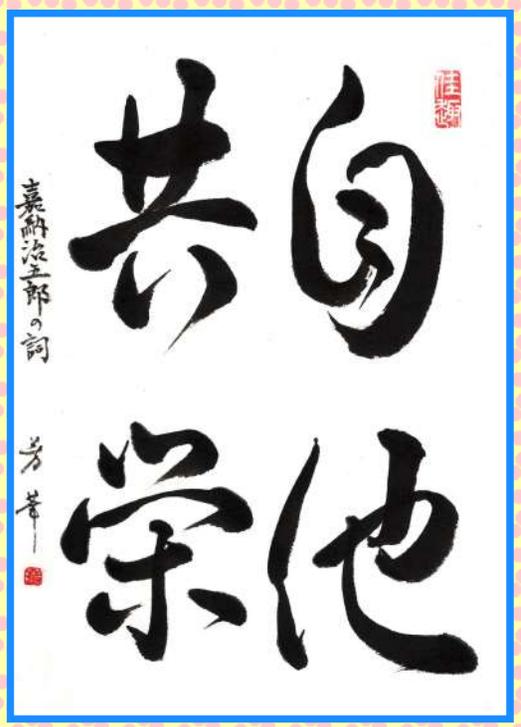


103系通勤電車

直流電化区間を北に伸ばすことは地磁気観測の障害になることから不可能。常磐線でも1982年以降に交流用3ドア赤電415系にロングシート車を導入しましたが、3ドア車であるために混雑時の対応には限界がありました。その頃、土浦市や牛久市

常磐線あれこれ 45

しらかば文芸欄 26 書道・寿 芳華



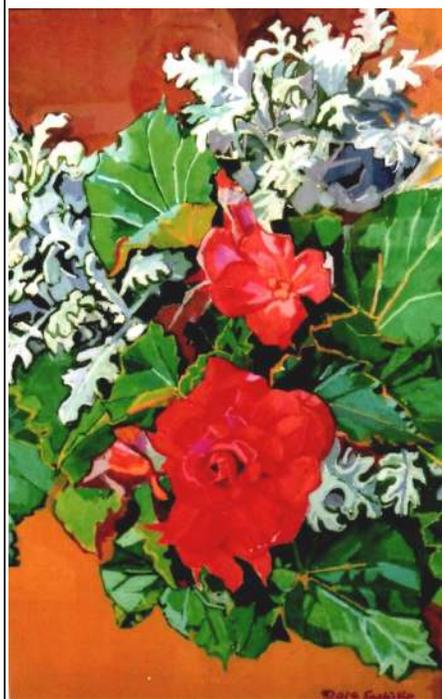
を投入して欲しい」という要望でもありました。そしてこの要望に込めるべく、国内初の交流流4ドア通勤電車E501系が投入されました。



常磐線E501系

の商工会議所や選出国会議員などが中心となった「県南常磐線輸送力増強期成同盟会」が、「常磐線快速電車の延伸」という要望を運輸省(現国土交通省)などに継続的に行っていました。これは沿線のイメージアップのため、「現在の3ドア中距離電車ではなく、快速電車と同じ4ドア通勤形電車

E501系はJR東日本が次世代の通勤電車用として「重量半分・価格半分・寿命半分」のコンセプトで開発した通勤型車両をベースに走行関連機器を交流流電車用に新たに装備した車両で、1995年12月1日から営業運転を開始しました。(次号へ続く)



「ペロニア」 若松・高橋祥子

(緑 竹内)